

今回は、2月20日に公開していただいた4年1組の「見て見て授業」をまとめました。この教材は、4時間扱いの短い单元ですが、この单元の前にある、「報告します、みんなの生活」と関連させることによって、付けた力を活用させることができます。そのことを見通して時間を入れ替える等の工夫をし、この单元の後、グループでポスターを作成していました。

单元名：「目的や形式に合わせて書こう」(東京書籍4年下)

研究授業：4年1組 小島 美咲 教諭

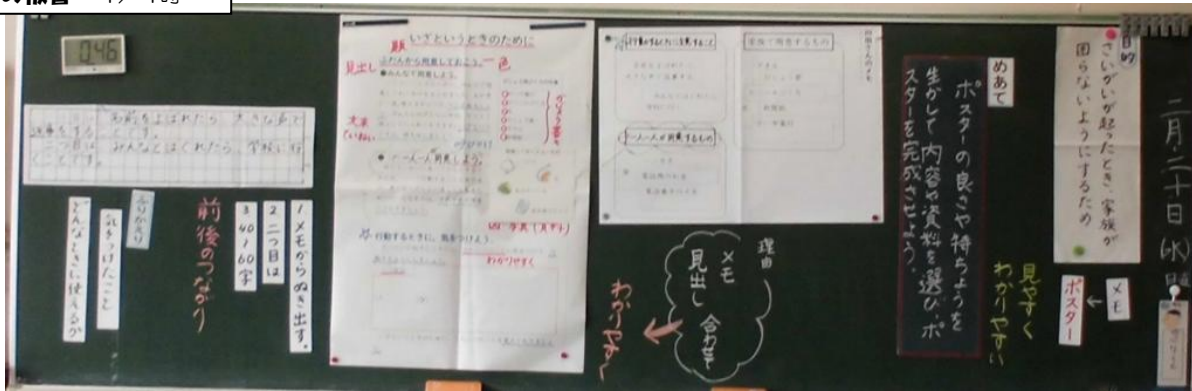
身に付けさせたい資質・能力

【知・技】丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。

【思・判・表】自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。

【学びに向かう力】目的に応じた伝え方の工夫に興味を持ち、ポスター作りに取り組もうとしている。

本時の板書 4/4時



学習の流れ

目的や形式に合わせて書こう
学習の流れ(全4時間)

- こんな学習をしよう(1)
目的と形式を意識して
分かりやすく書く
- 書き方を工夫しよう
●目的に合わせてことごと整理しよう(1)
◎メモ ◎ポスター
●ポスターの形式に合わせて書こう(2)
◎メモをもとに
・資料を選ぶ
・文章を考えて書く

つけたい力
伝える目的や形式を考えて、分かりやすく書く力

授業の流れ



①授業の導入では、前時の学習を想起させ、ポスターの目的や特徴について確認し、めあてへと繋げていま

②空欄に入れる資料はどれが適切なかの、3つの資料の中から選び、その理由もノートに書きます。書いた後は、ペアで交流し、全体で確認

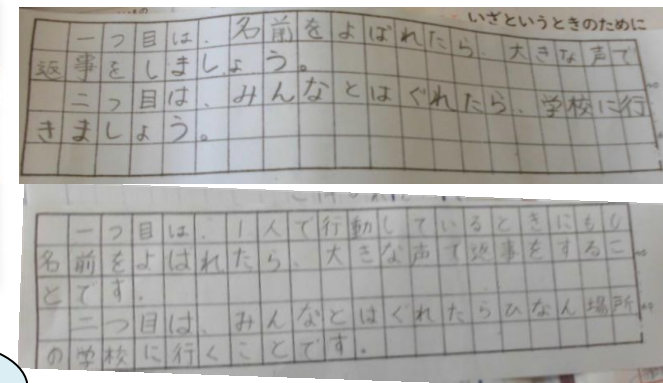
③次は、空欄に入る文章を考えて書きます。「一つ目は」に続く文章になるようにワークシートに書かせました。その後、ペアで交換して交流

交流の視点：

- ①3つの条件がそろっているか
- ②文末表現はよいか

前のページのメモに書いている見出しと、ポスターの見出しを見比べると分かるね。

この後の文章を読むと、この資料がいいよ



⑤最後に振り返りです。振り返りの視点は、今日の学習で気を付けたことと今日学んだことをどんな時に使うかでし



終始、素敵な笑顔で授業を進めていた小島先生、授業公開ありがとうございました。

事後研より

- よく教材研究されていて、子どもの言葉を上手に授業に取り入れて返している。
- 課題克服のために、短作文で条件を与えて書かせる取組をしているが、今日の授業でも条件を3つ与えて書かせていたのがよい。条件の1つが字数を40~60字としていたので、マス目のワークシートを用意するという手立てもよかった。
- 作った文を声に出して読ませたことで、文末表現「～しましょう。」が続く不自然さに気付くことができた。
- 学力調査の問題によく出る資料と文章を比べながら読む教材であり、これから特に重要視される力を付ける授業であった。
- 資料を選ぶのはすぐにできていたので、そこで時間をとらずに次の本題に早く入るとよかった。子どもを見取り、軌道修正していくことが大切である。
- 今どこを見ればよいのか戸惑っている児童のために、教科書の拡大コピーの掲示を活用して、矢印やマーカーキングで分かりやすくする手立てが必要である。
- 空欄に文章を書く時には、前後のつながりを意識させることが大切であった。そうするともっと「～こと」に着目できたのではないか。
- なんでもOKとならないように、どこまでできたらよいのか到達させたいこと(ゴール)を明確に持つことが大切である。
- 子どもを本気にさせる「よし、挑戦したい」と思わせるような仕掛けや言い方を授業にどんどん取り入れたい。

授業者のリフレクションより

- 資 どのまでが正解かさらにいいものなどA・B評価を具体的に考えておく。
- 主対深 子どもたちがやりたい気持ちになるようなしかけを用意したり、言葉がけをしたりする。
- 言 言葉にこだわり、吟味させるようにしていく。
- 感 大事なところは子ども達に言わせるように気をつけます。